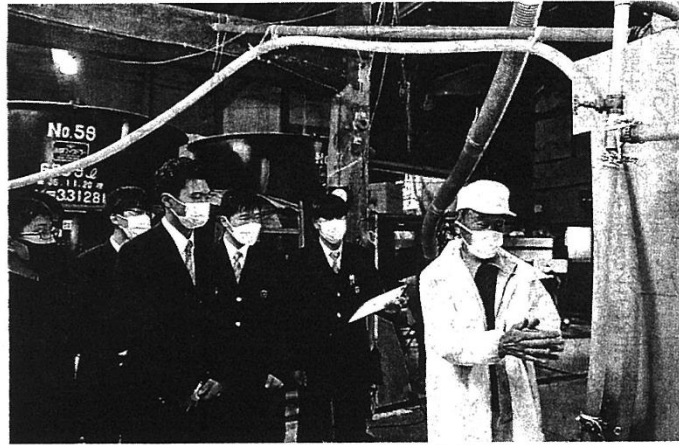


篠山東雲高生 酒造り学ぶ

2年生10人 鳳鳴酒造の味間蔵見学



酒造を見学する高校生たち＝鳳鳴酒造味間蔵

包装などにも挑戦

篠山東雲高校（丹波篠山市福住）アグリプロダクト

類型の2年生10人が、鳳鳴

酒造の味間蔵（同市大沢）

を見学した。同酒造の社員

から酒造りの工程の説明を

チャレンジした。

同校が取り組む酒米栽

培、加工、販売を学ぶプロジェクトの一環。同校では、農業の6次産業化を学ぼうと、2018年から酒米の栽培などを続けている。

生徒らは酒蔵の内部に入り、酒米を蒸す甑やタンクなどを見学。同酒造社氏顧問の さん(80)が機械や道具の使い方のほか、酵母や米、麴が原料で、醸造の良しあしを左右する酒母作りのポイントなどを説明した。

さん(17)は「授業で聞いたり写真で見たりして知識はあったが、目の前で見ると全然違った。貴重な体験をさせてもらった」と話していた。

(川村岳也)

神戸新聞

2022年2月6日